

# 火戸尻山～鳴虫山山行報告

【日時】 2019.5.11(土) 晴

【参加者】 菅井 寺崎

【交通手段・行程】 電車

千葉 5:38 野→北千住 7:12→ 8:30 新鹿沼→タクシー→ 登山口そば[山屋]9:15 →林道終点  
9:50 → 山神様 10:27 →10:50 火戸尻山 11:05→12:10 991P12:15→12:45996P12:50  
→13:35 鳴虫山 13:50→14:15 合峯→16:00 化地藏 →16:30 東武日光 17:23→錦糸町→  
20:13 千葉

【報告】

錦糸町で予定の地下鉄に1分ほど乗り遅れ、次の西部特急に乗り新鹿沼からタクシーでリーバスを追いかけることになった。リーバス終点で追いついたが、そのまま登山口そば処「山家」までタクシーで行く。山家の前の林道を上ると、すぐに大きな古い道標「展望歩道」があるが「倒木などで荒れ、踏み跡もない急坂を這いつくばって登ることになる」というので、足下の小さな道標「登山道」に従って林道に行く。少し行くと林道とは思えないほどの急坂になる。林道終点から登山道が始まる。すぐに鹿よけネットを2つほどくぐる。踏み跡程度の急斜面の登山道をほぼ直登10分ほどですると

尾根筋にでる。ここからは尾根筋につけられた比較的歩きやすい踏み跡をたどる。急な踏み跡を喘ぎながら直登する立ち木に覆われ展望のない火戸尻山山頂に着く。山頂には山名を示す標識もない。三角点を示す石があることから山頂と確認する。

火戸尻山からは比較的平坦な下り坂が続く。919Pへの上りはまたまた急な踏み跡を直登する。996Pへの上りもかなり急な斜面の直登だ。ピーク直前、南面の樹木が伐採されほぼ平坦な場所に出る。ここから今まで歩いてきた南面の山や稜線がすべて見渡せる素晴らしい眺めだ。



996Pは踏み跡より少し東側にあるらしいが急にふみ跡がわからなくなる。どこがピークかわからない。歩きやすい場所を選びピークにはいかず、北に向かう。やがて稜線上はつきりした踏み跡に出る。この踏み跡の両側には鹿策が張ってある。鹿柵に挟まれたような道を進み、またまた急斜面を直登すると鳴虫山に着く。山頂から歩いてきた尾根は「**これから先登山道はありません。危険につき通行禁止**」の札とロープが張られていた。鳴虫山からの一般のハイカーの侵入を防ぐためのものだ。



鳴虫山からは「化け地蔵」を見たいとのことで合満淵方面に下山。途中新緑の中にまだ残っていたアカヤシオが見事な対比を見せてくれた。